

鹿ノ台川柳教室 二月度句会

二月十九日(月) 西集会所

席題「咲く」 橘 正清選

頑張った運さえむけばサクラ咲く
 サクラサク吉報が来て春が来る
 咲き乱れきれいな花のエトセトラ
 梅のつぼみ探して散歩長くなる
 こぼれ種噂話に花が咲く
 あざやかに大輪咲かす寒牡丹
 待ちわびて年越しの花定位置に
 爛漫と咲く快感がない造花
 何色に咲いてみようか君の胸
 もう一度咲きたい夢も消えていく
 寒い空父母逝き野路に梅が咲く
 咲いたとともう遅い我徒花よ
 ⑨遅咲きの蕾すっかり抱いている
 ⑩桜花咲いてなんぼと散るなんぼ

宿題「怪しい」(連記) 奥村義雄選
 家事の手間減らす家電の売れる怪
 座禅中怪しい音に無表情

よし尚
 アキラ
 乃り子
 英二
 義雄
 春代
 えいじ
 良一
 広子
 哲子
 宏樹
 充
 よう子
 正清
 宏樹
 えいじ

またしても機密文書が暴かれる
 最近はやけにごきげん気前いい
 片言の大阪弁の上手い奴
 暗闇の窓に怪しくゆらぐ木々
 怪しいな残り香少し夫浮気
 はれのひの成人式は大荒れや
 お節介が過ぎて仲を怪しまれ
 入試ミス今ゾロゾロと何故でたの
 キッチンで鼻歌妻はクラス会
 月の夜は自分の影に追われてる
 アピールが過ぎて墓穴を掘っている
 絶対に儲かりますと言う話
 勝負よりプロセスを観る大相撲
 入試には出題者まずテストする
 ⑪ウフフと笑って女過去を消す
 ⑫隠れても鬼が見付ける影法師

宿題 自由吟(共選) 澤山よう子選

なるようにしかならないと生きて楽
 こんな日はジグソーパズルやってみる
 ウオーキング忍耐いるが金いらす
 スーパーの目玉で決まるマイディーナー
 北風が剥がす私の化けの皮

勝利
 正清
 英二
 春代
 登美
 幸男
 よう子
 よし尚
 広子
 哲子
 乃り子
 アキラ
 充
 千楽
 良一
 義雄
 アキラ
 英二
 充
 よし尚
 良一

敗者泣き勝者も泣いて我も泣く
氷上に神舞い降りて金運ぶ
内視鏡心の内は写せない
人の3倍生きてきたよな私の手
寒空に膨らむ蓄春を待つ
生き急ぐ正解だけを追う苦痛
手を焼いた部下にリストラ迫られる
励ましの一言冬を立ち直る
黎明に消えゆく星の辿る術
⑤正義でも理想現実揺れまくる
⑥折り目ない札を袱紗に大安日

乃り子
登美
幸男
広子
えいじ
勝利
勝利
良一
正清
登美
よう子

宿題 自由吟(共選) 笹倉良一選
スマホには重さで勝る広辞苑
言われればそうかと思う四回転
ポックリと死ねば弔辞で誉められる
同窓会別れた後の愛拾う
実力と運もつかんで女神よぶ
手を焼いた部下にリストラ迫られる
人の3倍生きてきたよな私の手
スーパールの目玉で決まるマイディーナー
深情け持て余される雪女
こんな日はジグソーパズルやってみる

乃り子
英二
宏樹
哲子
よし尚
勝利
広子
よし尚
義雄
英二

なるようにしかならないと生きて楽
わたくしを試したくって登る山
内視鏡心の内は写せない
黎明に消えゆく星の辿る術
折り目ない札を袱紗に大安日
⑦生き急ぐ正解だけを追う苦痛
⑧北風が剥がす私の化けの皮

アキラ
広子
幸男
正清
よう子
勝利
良一

宿題 お題「案じる」(互選)

③トランプと正恩が持つ核ボタン
強がりと言うが浪人3年目
長風呂の心配よそに歌手気分
防衛のためと増強する軍備
④顔だけは案じています他人事
医者顔の顔そつとうかがう血糖値
⑤氷上に案じた金を神運ぶ
妻に似た子の将来が案じられ
曲者の次の一手が気にかかる
人生は百年時代不安のみ
⑥午前様案じていても知らぬ顔
古希の子にマフラーを編む母卒寿
⑦人類が死に絶えた日の夕焼けは
飲み込んだ不安暴れて胸を蹴る

アキラ
義雄
よう子
アキラ
よう子
登美
登美
義雄
勝利
幸男
えいじ
英二
英二
広子

⑧ 大丈夫トンネルいつか抜けるから 千楽

⑨ 九条に右折禁止を言い聞かす 良一

* 一月から参加の充さん、席題「咲く」で準秀句、宿題連記「怪しい」で準々秀句、強敵が増えて、いよいよ大変です。切磋琢磨、ですね。皆さまご奮起を* (アキラ)

鹿ノ台川柳教室 会員の新聞投句 掲載された句

(一月十日〜二月十八日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

一月十八日 題「背く」

清流が時には謀反企てる

澤山よう子

一月二五日 題「呼吸」

深呼吸大きくひとつドアノック

播本 英二

毎日新聞 山田順啓選

一月十一日 題「昨日」

昨日まで元氣無常の風に散る

澤山よう子

一月十八日 題「マナー」

親しみが過ぎてマナーを置き忘れ

澤山よう子

一月二五日 題「指輪」

今日もまた指輪の透き間埋めている

林 勝利

二月一日 題「番号」

脱衣箱七番今日も使用中

野々村アキラ

二月八日 題「磨く」

終の住処磨いて余生恙無い

勝部乃り子

奈良新聞 居谷真理子選

一月十日 題「友」

絶交を覚悟で意見くれた友

澤山よう子

今もおレモンの味の友がいる

前田 幸男

アバウトに言えば人類みんな友

野々村アキラ

恋人未満ばかり本命現れず

五十嵐千楽

一月十七日 題「食べる」

夢追う日二人で分けたカップ麺

野々村アキラ

民衆の胃を満たさずドンの核遊び

澤山よう子

飢え知らぬ後ろめたさと有り難さ

播本 英二

むかしむかし飽食の世があったとき

五十嵐千楽

一月二四日 題「ぜいたく」

GPSなしの旅のスケジュール

橋 正清

屠蘇おせちテレビはダイヤモンド富士

野々村アキラ

立ち食いの蕎麦に山盛りトッピング

播本 英二

一月三十一日 題「チャンス」

現実はピンチのあとはまたピンチ
何回もあつた筈だというチャンス
また待てばチャンスはあると奥歯かむ
リセットが素直にできるお正月

播本 英二
橘 正清
勝部乃り子
野々村アキラ

二月七日 題「飼う」

一人ではないと教える犬の声
飼い主の躰教室待ち望む

播本 英二
澤山よう子

床暖房ポチに散歩を断られ
子供よりなついてくれるお手もする

野々村アキラ
勝部乃り子

二月十四日 題「ドキドキ」

冷静でいられることが恥ずかしい
胸弾む今日も新たな陽がのぼる
ドキドキもワクワクもあるニキビ面
ドキドキや恋の病は治療せず
前の日に闇にまみれてゴミを出す

播本 英二
澤山よう子
野々村アキラ
前田 幸男
橘 正清

奈良新聞 自由吟

一月十一日 大楠紀子選

カシオペア掴めば指が透けてくる

橘 正清

満面の笑顔に包む嫉妬心

澤山よう子

門前の形相見つめ泣く子ども

前田 幸男

一月十八日 大楠紀子選

残照にやがて遊行期移りゆく

澤山よう子

悴んだ指にかくれてオリオン座

橘 正清

悪あがき歳に似合いの顔の皺

前田 幸男

二月八日 松本征子選

しっかりと閉じた本音が暴れ出す

澤山よう子

筆法の語彙の盛り付け食べ残す

橘 正清

景色とはどんな色かと尋ぬ孫

前田 幸男

二月十五日 松本征子選

共食いの連鎖が飢えを助長する

橘 正清

老化度をクロスワードに試される

澤山よう子

*右の通り、句会参加者、新聞各紙の投句でも活躍
橘正清、林勝利、前田幸男 各氏は、短歌、俳句
でも各紙で活躍中*

次回句会 三月十九日、十三時、いきいきホール

宿題のお題、「意中」、「返す」、「自由吟」。各二句。

*「意中」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

*「自由吟」は選者二人の共選、二部提出のこと。

当日席題あり。十二時三十分「お題」発表、

出句×、宿題十三時、席題十三時十五分。

問合せ 五十嵐修(79・0751)、原広子(79・0061)

